



# こんにちは 加藤ひろし です

第52号



私の活動地域  
晴海・勝どき・豊海町  
築地・浜離宮庭園

<らしゃ区政のご相談  
お気軽にお電話ください  
3551-6820 (事務所)  
3533-0583 (自宅)

日本共産党中央区議会議員 私のブログもご覧ください『こんにちは加藤ひろしです』で検索!

## 「医療・介護総合法」成立 「医療崩壊」「介護難民」に拍車

6月18日、参議院で国民の安心の仕組みを根本から揺るがす「医療・介護総合法」が自民・公明などの賛成多数で可決されました。

### 利用者負担2割へ

社会保障を大変質させる「医療・介護総合法」は、安倍政権がすすめる“消費税と社会保障「一体改悪」路線”の柱です。「自己責任の社会保障」を打ち出し医療・介護の様々な分野で国民の負担増と給付減を強いるものです。

今回の改悪で、年金収入が280万円（月額約23万5千円）の高齢者の介護サービス利用負担を1割から2割へ引き上げます。高齢者の五人に一人が対象となる利用料の倍化は、介護を必要とする高齢者の生活に打撃を与え、利用抑制を引き起こしかねません。

### 特養老人ホーム入所を 要介護3以上に限定

今回の改悪により、特別養護老人ホームへの入所は要介護3以上に限定されます。区内でも特養の待機者は常に300人を超えています。入所を待っている「要介護1・2」の方は、今でも入所待ちの行列に並んでも後回しにされていますが、今後は行列に並ぶことすら許されなくなりそうです。その上、多数の方々の入所の権利を奪いながら、それに代わる施設計画は示されていません。「介護難民」「老人漂流社会」はいっそう深刻にならざるを得ません。

### 要支援者の訪問、通所介護の 保険給付から除外

さらに、要支援者の訪問・通所介護を保険給付から外し、区市町村の地域支援事業に置き換えることも大問題です。「要支援1・2」の方が利用する「訪問・通所介護」を国の保険給付対象から除き、区市町村の事業に“丸投げ”することになります。新たに要支援と認定された方には、ボランティアなどのサービスしか提供されない恐れがあります。

### 生存権を保障する政治への転換を

私は、国が進める「負担増・給付減」による利用の抑制、個人や家族に負担と犠牲を強いる「自己責任の社会保障」ときっぱりと決別することが求められると考えます。

中央区に対し医療・介護の給付水準の切り下げで介護サービスを、後退させないよう求めていきます。また、国が憲法25条に基づく社会保障の向上増進に責任を持ち、国民の生存権を保障する政治への転換のため、これからも力を尽くしていきます。



6月12日、国会議員団に請願を届けました

## 築地市場移転反対・現在地で再整備を

日本共産党区議団ニュース

2014年6月下旬号 中央区築地1-1-1  
電話3546-5563, FAX3546-9570

5月9日付「しんぶん赤旗」に「築地移転 賛成派も異議」という記事が掲載されました。築地市場移転の矛盾が噴出しています。

(第3種郵便物認可)

# 安全宣言避ける都 非効率な建物構造



豊洲新市場予定地—東京都江東区、2012年12月11日撮影（東京都提供）

# 築地移転賛成派も異議

深刻な土壌汚染、建設費の急増など問題が噴出している、東京・築地市場の東京ガス工場跡地（江東区豊洲）への移転計画。移転先にありきの都の強引な姿勢に、賛成してきた業界団体から批判の声があがっています。（岡部裕三）

## 業界団体から声

「都の責任で（土壌汚染対策の）安全宣言はされるのか、されないのか」。移転賛成派のリーダー、伊藤裕康氏（東京都水産物卸売業者協会会長）は2月24日の土壌汚染対策工事と地下水管理に関する協議会で、都に迫りました。伊藤氏の質問に対



伊藤裕康氏

し、建設工事を急ぐようとしている都中央卸売市場側は明確な説明を避け、市場業界で大きな話題になりました。本紙が伊藤氏にインタビューすると開口一番、「市場は消費者に對して、安心・安全な

食材を安定供給する責任があります。（新市場に）行く前には当然、安全宣言をしてもらいたいと思うんです。（都は）責任をとるのがいやなんですかね」と不満を口にします。

伊藤氏は、新市場の設計についても「かなり使いづらい構造になっています。一番心配しているのは、新市場の物流（システム）が決まっていないことだと指摘します。新市場は青果棟、魚卸棟、魚仲卸棟の建物が大きな道路で分断され、しかも各建物は閉鎖型で重層構造のため非効率的です。築地で使っているターレット運搬車も使えなくなる可能性があり、物流経費の増大は避けられないといえます。」

「最初は、都はどういう新市場をつくるのかを業者も加わって検討しました。途中から三つの業界団体の陣取り合戦になって、自分たちの都合を優先した設計ができた。『私は何回も都に申し上げたんです。考え直す余地がありますよ。しかし、都は聞き入れてくれなかった』  
活魚のタンク、冷凍マグロの解凍などで大量に使う『ろ過海水』（海水をくみ上げ浄化する設備）も問題だといえます。築地では都が維持管理をしていますが、豊洲では業者任せにする方針です。伊藤氏はいいます。「せめて水質の安全検査は都でやってもらいたい。もし魚が細菌に汚染されたらどうするのですか」

「しんぶん赤旗」2014年5月9日号より